

会議等結果報告書			
会議区分	会議・打合せ・協議	文書番号	上富自推第256号
		決裁期日	令和3年10月26日
名称	第3回上富良野町協働のまちづくり推進委員会		
日時	令和3年10月26日(火) 18時30分～19時20分		
場所	役場3階 第2会議室		
出席者	協働のまちづくり推進委員6人(別紙名簿のとおり) 事務局：町民生活課 星野課長、自治推進班 新井主幹、佐藤根主事 合計9人		

◎ 会長あいさつ

今日のテーマまちづくりフォーラムについて、議題に沿って進めていきたい。ご協力お願いする。

[進行：会長]

〈議題〉

1 まちづくりフォーラムについて

9月10日までに委員に回答いただいたアンケート結果を踏まえ、議案に沿って協議を進めた。

【方法】

決定：B案

活動報告はパネルディスカッションに含めて行えることなどからB案に決定した。

【テーマ】

決定：かみふらのの10年後

次につながる前向きな話題として、かみふらのの10年後をテーマとすることで意見が一致した。

委員：インターネットは普及しているが、オンラインについていけない人もいる。今後そのような人達とどうつながりを作っていくかを10年後の一つのテーマとするのはどうか。

委員：10年前はこうだったが、現在はこうなっている、10年後はこうありたいといった形にすると、色々な意見がでてくるのではないか。

委員：移住してきた人からも話が聞ければよい。

会長：上富良野はこんなに変わったということが再確認できれば、町への愛着も湧くのではないか。

委員：10年前と現在はデータで良いのではないか。

- 委員：10年前と現在は事務局（役場）から説明いただけないか。
- 委員：分野ごとに説明いただくのが良い。
- 会長：農家が少なくなったことや、高齢者が増えたこと、子どもが少なくなったことが分かるデータがあると良い。
- 委員：商業でいえば商工会の会員は減っているが、購買力はどうなっているのか。お願いすれば商工会からデータの提供はいただけると思う。農業では農家は少なくなったが生産高は増えており、それはどうしてなのかといった話につなげていきたい。
- 会長：詳細については次回検討する。

【開催時期】

決定：2月

講師、パネリストをお願いするにあたり時間の余裕を持ち、新型コロナの感染状況をみながら2月開催を目的とすることで意見が一致した。

【講師・コーディネーター】

決定：北海道科学大学 濱谷教授

H31までまちづくりフォーラムの講師やコーディネーターを務めていただいた濱谷教授に継続してお願いする形とした。

- 委員：以前までは新型コロナの感染状況から、札幌から講師を迎えるのは控えるべきと考えていたが、状況が良くなっているため札幌などから講師を迎えることも問題ないと思われる。

【パネリスト】

様々な分野から話を聞くため、再度委員に分野別「商業」「農業」「産業」「工業」「福祉」「教育」「子育て」で候補者についてアンケートをとり、次回会議で2名又は3名に絞る形となった。

【その他】

会場は公民館を予定することで意見が一致した。

- 委員：町内の子ども達にかみふらのの10年後について作品を募集するのはどうか。
- 会長：冬休みの宿題として取り組んでもらうのも方法ではないか。
- 事務局：学校ではカリキュラムが詰まっております、依頼事の多くはお断りしている状況であると伺っている。
- 委員：学校の事業ではなく当委員会から募集をかけるのはどうか。
- 事務局：一般に募集をかけることは可能である。
- 委員：子育てサークルに声掛けするのも方法である。
- 委員：応募を待つだけでなく何か集まる場面で周知するのが良い。
- 事務局：ただ集めるだけでなく、集めた作品をどうするかを決める必要がある。

前田会長：今後検討を進める。

2 その他

委員より今月末から始まる文化祭についての周知があった。

次回会議について

次回会議は11月中とし、パネリストについてのアンケート（分野：氏名等）の取りまとめが終わり次第、後日事務局から委員に日程調整の連絡を行う。

【会議録は決裁終了後、行政ホームページで公開】